

平成28年12月1日に民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、県下で2,008名の方々が新たに任命されました。民生委員・児童委員は、民生委員法や児童福祉法により厚生労働大臣から委嘱されており、住民の困りごとや悩みを受け止め、適切な機関・専門家につなぐ「住民に最も身近な援助者」として期待されています。

下の写真は、平成28年度新任民生委員児童委員研修会（平成29年2月20日）の様子です。民生委員・児童委員活動において必要な心構えや役割を学び、実践活動に結びつけることを目的として開催されました。

**新たに任命された
民生委員・児童委員が
一堂に会して、
平成28年度「新任民生委員
児童委員研修会」が
開催されました。**



とくしま
福祉広報
189号
march.2017

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ct-tokushima.jp/

ひと
ボランティア・
NPOの情報紙
38号 march.2017

とくしま県民活動プラザ
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345
e-mail:info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
http://www.tokuvc.jp



- 特集** 地域活性化団体 MOVE
次世代に受け継いでもらえるような活動を
- ひと** 為せば成る・七転び八起きで
住民の交流スペース あまべの杜
代表 笠原 まりさん
- シリーズ・このひとから**
翔べ!元祖ビッグひな祭り リオ五輪へ
NPO法人 阿波勝浦井戸端塾
塾長 稲井 稔さん
福祉学習 阿波市社会福祉協議会
地域福祉担当 佐藤 好幸さん
- ハートリレー**
No.38 阿部さんから西前さんへ
- New face** NPO 法人 ママの働き方応援隊
徳島校 徳島校代表 小賀 真紀さん

地域活性化団体 MOVE

今後30年以内に、70%程度の確率で発生するとされている南海トラフ巨大地震に、私たち誰もが不安を感じています。

今回、ご紹介する「地域活性化団体 MOVE」さんは、復興・被災地支援など「徳島からできること」に力を入れ、活動しています。また、ユニークな体験型防災イベント等を通じ、地域の防災力を高めようと取り組んでいる若手中心の団体です。



次世代に受け継いでもらえるような活動を!

地域活性化団体 MOVE



世代を超えたネットワークづくりを大切に

代表 乾 幸太郎さん

東日本大震災の被災地である南三陸町にボランティアとして1ヶ月間訪れ、瓦礫撤去などの作業に携わりました。徳島に戻った後も、被災地に対して何かできることをしたいという気持ちが強くありました。その時、香川で「あの日を忘れない…」プロジェクト「被災地を思い、被災地に学ぶフォーラム」を手伝い、このイベントをぜひ徳島にも取り入れたらいいと思ひ、多くの方の協力をいただき、2014年3月9日に鳴門で開催することができました。そして、この時関わった若いメンバーたちが今後も活動を継続していきたいと「MOVE」を立ち上げました。

活動としては、「イザ!カエルキャラバン!」という親子で参加できるおもちゃの交換会と防災プログラムを組み合わせた防災イベントを年に1回鳴門で開催しています。2016年で開催2回目となります。神戸の震災後に、ある NPO 法人がこの仕組みを考え、



全国展開しています。内容は、家庭で余っているおもちゃを持ってきてもらい、イベント内で使えるポイントに換え、他の子が持ってきたおもちゃと交換できる仕組み。さらに色々な防災プログラムのブースがあり、それを受講することでもポイントがもらえます。最後に、人気のあるおもちゃを貯めたポイントで競り落としてもらうおもちゃのオークションをします。

「地域活性化団体 MOVE」は、一人一人に独自の能力があり、互いに補い合い、柔軟に対応できる団体です。そして、イベント時には、小学生から年配の方まで幅広い世代の方がボランティアとして協力してくれています。今後も、この強力な「世代を超えたネットワーク」を大事にし、地域に関わっていきたくて、次世代に受け継いでもらえるような活動ができればと思っています。

メンバーやボランティアに負担をかけない

なかの 毅 毅一郎さん

私たちの団体は、ボランティア活動を自分たちの生活に無理のない範囲で、できることをやっいていこうと2014年12月17日に設立しました。そして、「今から動き出す」という意味で「MOVE」としました。

災害が起こればSNSなどで情報発信し、支援金や支援物資を集めます。熊本地震の際は、物資が多く集まりすぎ、余ったものが捨てられる羽目になったと耳にしました。そのため、お金や未使用タオルなど、実際に必要なものを集め、徳島からできることを考え、活動しています。

私たちは非常に仲間意識が強く、会議がなくても頻りにメンバー同士で集まります。また、私には子どもがいますが、子どもが寝ずまってからでも会議に参加しやすい理解ある団体です。活動は、ダッシュ隊徳島など他団体やボランティアの方々と協力し合いながら行っており、有り難いことにメンバーよりボランティアの数の方が2~3倍多いです。決して強制はしない、各人ができることをすればいい、「メンバーやボランティアに負担をかけない」ということを第一に考えています。それが活動を長続きさせることにつながるとしています。



イザ!という時、周囲の役に立てるように

おいしい 大石 瑞穂さん

乾代表は何に対しても真面目で意欲的で、リーダーシップがあるんです。そんな代表率いる私たちの主な活動は、子どもたちの防災意識を高めようと、おもちゃの交換会と防災プログラムを組み合わせた防災イベント「イザ!カエルキャラバン!」です。例えば、災害時に、食器が割れてしまうと食事の時に困りますが、紙食器で代用できます。その紙食器の折り方を子どもたちに教えたり、「災害時、こういう時はどうしたら良いか」ということをカルタや紙芝居で学びます。また、消防の方など専門家に協力していただき、車のジャッキを使用した救助方法や消火器の使い方などを体験します。初めて出会った子どもたちも仲良く協力し合い、とてもにぎやかです。防災よりもおもちゃ交換の方に意識がいくのでは、と思いましたが、そうではなく、とても真剣にプログラムに取り組んでもらえることに驚きました。そのことをすごく嬉しく感じます。

子どもたちと一緒に学ぶことで自分の知識にもなります。必ず起きると言われる南海トラフ巨大地震。私たちの知識が、「イザ!」という時、家族や地域の人の役に立てるようこれからも活動を続けていきたいです。



AWA スミット 2016
- 炭は地球を救う - PR 活動
(炭の魅力を伝えるイベント)

カエル
キャラバン視察
(神戸)

鬼怒川氾濫時の
救援物資
支援活動

カエル
キャラバン in 鳴門
vol.2

地域活性化団体 MOVE
代表 乾 幸太郎

メール: kkk_0605@yahoo.co.jp
Facebook: https://www.facebook.com/rag.MOVE/
TEL: 090-6888-6452

※お詫びと訂正
平成28年12月20日配布の「ひと37号」の特集中、4ページ本文中の「民生児童委員や青少年指導員など、地域で様々な仕事をしています。」につきましては、誤記のため削除いたしました。



為せば成る・七転び八起きで



今回は、住民の交流スペース「あまべの杜」代表の笠原まりさんにお話を伺いました。

海陽町が好き。自然が好き。海陽の環境のなかで、子どもの城のように、いろいろな人が集えるコミュニティセンターを立ち上げるのが長年の夢。元保育士の笠原さんの捨て切れないそんな思いから立ち上がったのが「あまべの杜」です。子どもたちが将来、大人になって振り返った時、小さいころ思い出に残る体験ができ、地域の大人たちが話を聞いてくれ悩みを相談できる家庭的な場所だったと思える場所、そんなひとつの大きな家族としてゆるゆるとやっていけたら…と目を細め話してくださいました。

子どもたちのボランティアの意識が育っていき、子ども目線でのまちづくりを考えていく「びっくり箱」や「TIC活動」。小学校の人権劇を始めた事がきっかけで始まった「劇団レインボー」。小学生や子育て世代の親子から始まった「手話サークルつくしんぼう」。海

陽へたくさんの人に足を運んでもらえるよう、子どもたちと一緒に町の観光について考えるため立ち上げた「海陽町ニューツーリズム推進協議会」では観光ガイド養成をし、28年に設立された「NPO法人あつたかいよう」の理事長としても、行政や関係機関とつながりながら活動しているとのこと。どの活動も笠原さんのやりたいことがいっぱい詰まっています。「自分のやりたい、楽しいと思う気持ちが一番」と笑顔で話してくださいました。でも、ひとりでは実現しないことばかりで、フットワークの軽い仲間がいるからこそいろんな活動が継続できた。人とのつながりが増えたことが活動を続けてきて一番よかったこと。「あまべの杜」はいろいろなことをできる人が集まっているので、いろいろ相談すると親身になって応えてくれ、知恵を出してくれる。時には、甘えがあって全然前に進めない時もある。反省することも多いですがと笑う笠原さん。

「できるかできないかじゃなくて、やるかやらんかだと思うんです。何のために？ だれのためにやっているのかと言われることもあるけど、とにかく何でもやりたくてしかたないメンバーぞろいので、まだまだいろいろなことができるんじゃないかな。だからこれからももっと私は動かなくてはいけない」と話す笠原さんの目は、キラキラ輝いていました。

最後に、子どもたちに向けて一言を…とたずねると、「みんな帰っておいでー！！」と即答の笠原さんでした。子どもが好き。この町が好き。この先、地元に戻って来た子どもたちや地域の人たちに囲まれて笑顔いっぱいであろう笠原さんの姿が目に見えかけました。



住民の交流スペース ^{もり}あまべの杜
代表 笠原 まりさん

海陽町ニューツーリズム推進協議会
児童・青少年を支援する会
〒775-0302 海部郡海陽町奥浦字一字谷23-3
TEL: 0884-70-1374
E-mail: amabe-8787@mc.pikara.ne.jp

翔べ! 元祖ビッグひな祭り リオ五輪へ

NPO法人 阿波勝浦井戸端塾 塾長 稲井 稔 いな い みのる

日本スポーツ芸術協会の事務局長・理事である相原茂明氏より3年前、リオ五輪・パラリンピック期間中「ビッグひな祭り」の展示要請を受け、井戸端塾は全面協力を申し出た。

以来、相原氏と井戸端塾の綿密な計画と連携のもと、7月30日～8月8日までの日程で、リオ五輪会場に隣接するジャパンハウス内文化庁ブースに、高さ3メートル・15段・幅12メートルのひな壇に約千体のひな人形を飾った。五輪開幕に併せ8月5日、ジャパンハウスが一般公開され、日本人はもとよりリオ市民を魅了した。また、地元テレビ局、各国報道関係者の行列ができ、ひな人形についての質問等、にこやかに歓談する姿が微笑まし

く、ひな人形の華麗さ幽玄さに感動し大盛況であった。その反響は、予想以上に大きく終日来場者が長蛇の列を作った。

日本人の総本部である伯日文化福祉協会 新城春美会長、リオ州日伯文化体育連盟 鹿田 明義理事長に、ひな人形一式の目録を贈呈した。

このプロジェクトは、足掛3年に及ぶ遠大な計画で、四国の小さな町「勝浦から世界へ」、日本の伝統文化発信の礎になった。短期間であったが、多くのブラジル人との深交があり、オブリガータ（ありがとう）…等々の会話を通し、親切で温かな国民と思った。参加した会員は、達成感・成就感を満喫し8月6日、万感の思いを残し夜のサンパウロ空港をあとにした。



稲井 稔

元祖ビッグひな祭り実行委員会 理事長、勝浦町老人クラブ連合会会長、勝浦町社会教育委員長、徳島県退職公務員連盟副会長、元勝浦町教育委員会 教育長、元県立高等学校 教師・野球部監督、元保護司



福祉学習

阿波市社会福祉協議会 地域福祉担当 佐藤 好幸 さとう よしゆき

阿波市社会福祉協議会では、阿波市内の小学校・中学校に福祉学習の推進を行っています。

児童・生徒には、「なぜ、福祉学習が必要なのか?」「福祉学習を通して何を学び、何を伝えるのか?」を社協の立場から提案できればと考えています。

大切なことは、学校関係者・地域住民・児童・生徒と一緒に、同じ地域で生活するひとり暮らし高齢者や、障がい者の存在を知り、思いや悩みを共有することができる。そこから、さまざまな生活や生き方があることに気づき、福祉の意味や役割に関心をもち、人を理解し、深い思いやりのこころがもてるこのような「気づき」ができる子供たちの成長ができる活動ができればと思います。

子供たちが福祉学習を繰り返し体験

しながら、子供たちの変わる様子を楽しみに見つけ、地域の人が関わる機会や子供たちの意欲・自発性が高まるお手伝いができるように工夫しながら活動したいと考えています。



災害時要援護者体験と車いす操作



中学生の高齢者疑似体験

NPO 活動に対する助成事業一覧

NPO・ボランティア団体の活動資金に対する県内の助成団体と融資団体をご紹介します。なお、これ以外の助成金情報についても「とくしま県民活動プラザHP」>ゆめバンクとくしま>助成金情報」に掲載しておりますのでご覧ください。

<県内助成団体>

- 文化活動助成
(公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団)
・募集時期：平成29年1月4日～3月31日
(平成30年度も同時期の予定)
・助成金額：1件当たり50万円を上限
・お問い合わせ先：088-623-3131 (総務課地域貢献事業担当)
- 社会貢献活動「助成金制度」(四国労働金庫)
・募集時期：毎年6月1日～7月31日
・助成金額：1団体20万円以内(四国内の活動に限る)
・お問い合わせ先：087-811-8004 (経営統括部)
- 生涯学習活動や文化事業を行っている団体に支援
(公益財団法人徳島銀行生涯学習振興財団)
・募集期間：上期募集/毎年4月1日～8月末日
下期募集/毎年10月1日～翌年2月末日
・助成金額：1団体50万円以内
・お問い合わせ先：088-623-3111 (総務部)
- 社会福祉、学術、文化、体育等の振興に対する助成
(公益財団法人徳島新聞社会文化事業団)
・募集時期：平成29年1月7日～2月10日
(平成30年度も同時期の予定)
・助成金額：1団体につき20万円以内
・お問い合わせ先：088-655-7364 (津川さん)
- ハートフルゆめ基金とくしま
(公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク)
・募集時期：上期2月 下期8月の年2回
・助成金額：募集期間と目標金額を設定し寄付を募る
・お問い合わせ先：088-678-2130 (福山さん)
- 徳島県福祉基金(公益財団法人徳島県福祉基金)
・募集時期：平成29年度事業 平成28年10月20日
～12月20日(平成30年度も同時期の予定)
・助成金額：1団体につき70万円以内
・お問い合わせ先：088-654-0294 (相原さん)
- 自然環境の保全活動への助成
(一般財団法人 日垂ふるさと振興財団)
・募集時期：毎年7～8月ごろ(ホームページ等)
・助成金額：1件100万円以内(前年実績)
・お問い合わせ先：0884-22-2311 (財団事務局澤田さん)
- 共同募金活用事業「テーマ募金」
(社会福祉法人徳島県共同募金会)
・参加申込期間：平成29年7月10日～8月21日(予定)
・募金運動期間：平成30年1月1日～3月31日
・助成金額：いただいた募金額に応じて助成
・お問い合わせ先：088-652-0200 (藤井さん)
- ゆめバンクとくしま助成事業
(認定NPO法人とくしま県民活動プラザ)
・募集時期：平成29年5月1日～5月31日
・助成金額：1団体につき上限5万円
・お問い合わせ先：088-664-8211 (ゆめバンク担当)

<県内融資団体>

- 徳島県信用保証協会
・融資制度：NPO法人のための信用保証制度
・お問い合わせ先：088-622-0210 (保証事務課)
- 日本政策金融公庫
・融資制度：ソーシャルビジネス支援資金
・お問い合わせ先：088-622-7271 (松木さん)

ハートリレー

No.38 阿部さんから西前さんへ



NPO法人 郡里交流会
にしまえ きよみ
理事長 西前 清美さん

課題解決は、人と人との繋がりと継続で

徳島県美馬市美馬町は、吉野川沿いに集落がまとまった地域です。また、大型企業の進出で地域発展の期待は大きいです。

西前さんはNPO法人郡里交流会の理事長を務め、高齢者生活支援、地域内外との交流を主に5事業行っております。①小地域助け合い活動は、高齢者世帯を会員が訪問し、安否確認や生活相談、災害時の早めの避難準備の指導や住民同士の連携等の啓蒙活動を行い、訪問先の状況をグループ(2～3人)ごとに会議で報告し、共通理解のもとに支援を行っています。②寺町案内人養成は、16名が参加し、地域内外を含め計24回の研修を実施しました。③寺町ギャラリーは、伊良原貞子展、郡里廃寺遺物里帰り展等を開催し750人の入場者となりました。④花しょうぶ祭りは、寺町公園で開催し、オカリナ演奏他、メインは三味線餅つきで、大人も子供も楽しみ700人の参加者で、寺町健康ウォーキングで幕を閉じました。⑤特産品の開発は、美馬市に訪れた観光客に地域特産品を食してもらおうよう開発しました。

5事業により地域の交流人口の増、住民の安全安心、地域の活性化を図っていききたい。西前さんのリーダーシップは地域を含め私も励みとなっています。

文・阿部義則



NPO法人 ママの働き方応援隊 徳島校

■設立について

2016年4月にNPO法人ママの働き方応援隊徳島校設立。

代表の小賀真紀さん。以前は神戸市にあるママの働き方応援隊・神戸校で活動していたが、出身地である徳島にないことを知り、人と人を繋ぐ赤ちゃんの力で何か社会を変えられないかと思い、徳島での活動を広げることが目的に徳島校を開校しました。



■現在の主な活動

赤ちゃん和妈妈が小・中学校などの教育機関を訪問し、生徒との交流を通じて命の大切さや育児体験、親になる準備などを学ぶ「赤ちゃん先生プロジェクト」。

このプロジェクトは、赤ちゃんのもつ「エンパシー(共感力)」によって、学び・癒し・感動を共有し、感じてもらうことがねらいの人間教育プログラム。学ぶ側だけでなく、育児に追われて家に閉じこもりがちなママが地域や人と繋がる社会参加も促しています。現在は藍住町から委託を受けて小・中学校を中心に開催しています。

■これからのビジョン

日本の無縁社会(=単身世帯が増え、人と人との関係が希薄な社会)を解消するというビジョンをもとに現在は20人で活動している。今後は県下全域に活動を広げ、高齢者施設や高校・大学などでも実施予定。わが子と一緒に参加してくれるママ講師も募集中。

NPO法人 ママの働き方応援隊 徳島校

〒771-1253 徳島県板野郡藍住町矢上字安任166-4
TEL.080-4022-0884 FAX.088-692-5644
URL: www.mamahata.net
Mail: tokushima@mamahata.net

とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会 「地域でのささえあい活動」を推進しています!!



<事務局>
(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センター
徳島市東沖洲2-14 沖洲マリナーミナルビル1Fとくしま県民活動プラザ内
TEL.088-654-4461 FAX.088-664-5345
ホームページ: http://tksjusaren.blogpost.jp/



徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会
会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLE NUP 吉野川をきれいに!
参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
県民環境政策課内
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2758
E-mail office@yoshinogawa.org
http://www.yoshinogawa.org/

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間
開館時間: 10:00～18:00
【研修室利用時間】
火曜日～土曜日: 10:00～21:00
日・祝日: 10:00～18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合●

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリニピア経由)」行きに乗車「マリナーミナル前」下車すぐ

編集後記

まさに「光陰矢の如し」で、プラザに来て早くも一年が経とうとしています。日々の業務を通して出会う県民の皆様は、エネルギーで個性豊かな方が多く、一つ一つの出会いを通して「社会貢献活動について」のみならず、多くのことを勉強させていただきながら毎日を過ごしています。地域の活性化、環境美化、障がいを持った方や高齢者の方の支援、子育てや子どもたちの見守り活動等、目指すビジョンは違えども様々な活動に信念と情熱を持って精力的に取り組まれている方々のサポーターとして、「とくしま県民活動プラザ」はこれからも前進していきますので、よろしく願いいたします。(島山 拓也)

地域生活支援と私



社会福祉法人三好やまなみ
ワークサポーターやまなみ

施設長
岩城 いわき
貞時 さだとき

私は、大学卒業後は、一般企業に就職して過ごしていた、当時は全く福祉の「ふ」の字も知らないこの業界では完全な素人でした。

転機は平成7年に発生した阪神淡路大震災で、当時建設機械メーカーに勤めていた関係で破壊された建物の解体等に建設機械が必要とされていたことなどで現地の状況を垣間見る機会を得たことでした。

そこで先頭に立って活動するボランティアの方々の様子に心を打たれ、自分もこうした活動に結び付くような仕事ができればと思いついた。出身町の社会福祉協議会に転職したことが福祉の世界でお世話になる第一歩となりました。

当初は地域のボランティア活動を推進する取り組みから始めましたがその後、課題を抱える方の早期発見の仕組みの必要性を感じ、地域の中で福祉的機能を持つ組織化の推進を図る一方で、保護司や補導員など地域での役割をいただく

き活動を進めるにつれ、個別支援を行うための専門的な支援技術の重要性を感じるようになりまし

その後ご縁をいただき現在の施設でお世話になることとなったのですが、ここで学ぶことは相当に多く、より一層地域の早期発見や見守りの機能が具体的に機能する必要性を痛感する毎日です。特に、ひきこもりの方などに関する情報収集や支援については、まだまだ

地域の中で潜在している事例は多く、今後、保健・医療・福祉の専

門的機関と行政、地域など幅広いセクションの具体的な連携が必要となります。

こうした中、三好市及び東みよし町では、平成28年度よりひきこもり相談事業が実施されることとなり、当法人が窓口として、ひきこもりの支援を行うNPO法人との協力のもとで情報収集や相談の受付対応などを行うこととなり、試行を繰り返しながら活動しているところですが、

引きこもりとなっている方は精神的な疾患を持っていたり、生活



困窮となつていたり、生活だったり様々な課題を抱えていることが多く、早期発見からなるべく社会の中に第一歩を踏み出していただく環境整備や支援が必要となります。現在は地域のボランティアアさんにご協力いただき、町の中にある店舗跡を改装して、ひきこもり

の方々の就労体験を行える拠点「寄らんるやまき」の開設にこぎつけ運営等について連携しながら相談支援も進めています。緩やかなながらも多くの人々に支えられぬ進めていきたいと思っております。



県内NPO・ボランティア団体のポスターを募集します！

多くの県民のみなさまに、県内で活躍している社会貢献活動団体を知っていただくため展示するポスターを募集します。

- 応募要件：県内で社会貢献活動に取り組む、または取り組もうとしている団体・グループ
- 募集团体数：40団体程度 ●募集開始：平成29年4月1日(土)～6月30日(金)
- 応募方法：プラザで用意する申込書に必要事項を記入して、次のいずれかの方法で応募してください。



- (1) A2サイズ縦 (420mm×594mm) の自団体紹介ポスターを作成の上、プラザまで持参、または送付してください。そのまま展示します。
 - (2) データとして、メールに添付。または、USB メモリー等で持参してください。プラザでA2サイズに印刷して、展示します (印刷費はプラザが負担します)。
- ※データは、ワード、エクセル、パワーポイント、イラストレータで作成してください。それ以外のソフトの場合は、PDFファイルで提出してください。 ※ポスターの枚数は1団体につき1枚です。

平成29年度貸メールボックス・ロッカー利用団体募集！

プラザ内のロッカーやメールボックスが使えることをご存知ですか？ (プラザに団体登録して申請すれば、1年間無料でご利用していただけます。1年ごとの更新手続きが必要です) 会議や作業に使う資料・用紙・文具等を入れておけるロッカー!! ※平成28年度利用団体さんは3月末で期限が切れますので、それまでに更新手続きを行ってください。 各団体宛のチラシを配布できるメールボックス!!

預託

●一般社団法人生命保険協会徳島県協会様・徳島県に働く生保の仲間様より、社会福祉法人阿波市社会福祉協議会へ福祉巡回車のご寄贈および、障がい者支援団体へ寄付金のご寄贈 ●公益社団法人生命保険協会ファイナンシャルアドバイザー協会徳島県協会様より、社会福祉法人三好市社会福祉協議会へ福祉巡回車のご寄贈および、社会福祉施設へ車いすのご寄贈 ●公益社団法人全日本司厨士協会徳島県本部様より、児童養護施設宝田寮へ施設訪問料理提供ボランティア(洋食)のご提供 ●一般財団法人四国電気保安協会徳島支部様より、障害者支援施設ルキーナ・うだつへ車いすのご寄贈 ●株式会社サニクリーン四国徳島支店様より、児童養護施設たけな苑へクリスマスケーキのご寄贈 ●株式会社マルナカ徳島店様より、社会福祉協議会等へ日用品のご寄贈 ●認定特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ様より、児童養護施設へ小・中・高校生のNPO・ボランティア活動体験事業 子どもが生き生きとはたらくまち「ぶらざタウン」のご招待 ●公益財団法人徳島県文化振興財団 徳島県郷土文化会館様より、社会福祉施設へ「平成28年度 阿波人形浄瑠璃振興事業成果発表公演」のご招待 ●明治大学校友会徳島県支部様より、社会福祉関係者へ「第33回 明治大学マンドリン倶楽部 徳島チャリティ演奏会」のご招待

ありがとうございます
ごさいます

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成29年度

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

保険金額		年間保険料 (1名あたり)	
プラン	Aプラン	Bプラン	
死亡保険金	1,320万円	1,800万円	基本タイプ
後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	350円
入院保険金日額	6,500円	10,000円	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)
手術保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円	500円
手術保険金	外来の手術 32,500円	50,000円	
通院保険金日額	4,000円	6,000円	
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)		
賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		



保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) 送迎サービス補償 (傷害保険) 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引継ぎ先〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

卓越した価値を提供し、
地域・お客さまと成長していく
良き「パートナー」をめざします



地域密着一等星銀行へ

阿波銀行
<http://www.awabank.co.jp/>

環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。



徳島銀行
© 2003 TOKUJIN
<http://www.tokugin.co.jp>

徳島銀行
<http://www.tokugin.co.jp>



災害ボランティアセンター設置運営訓練

また、小松島市社協には地域包括支援センターがあり、高齢者サロンや脳トレ教室などの地域包括支援センターの介護予防事業を支援する「介護予防サポーター」の養成にも力を注いでいます。今年度は、地区社協や民協、小松島市シルバー人材センター等との協働で、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。また、地域福祉活動計画の策定に向け、地域懇談会の開催等も行っています。今後も住民の声に寄り添った取り組みを進め、住民のニーズに幅広く対応できる事業を展開します。

小松島市社会福祉協議会は「善意銀行」の発祥の地として、住民相互の支え合い活動に力を注いできました。「善意銀行」とは、「あなたの善意を預かります」と掲げ、個人や事業所などから集まった技術や労力、金品を預かり、必要とする方々へ届ける需給調整の仕組みです。現在は、善意銀行の発祥の地を福祉まつり等のイベントでPRするとともに、善意銀行から発展したボランティアセンターとして、ボランティアの養成やプログラム開発を行っています。

5年前より傾聴ボランティア養成講習会を開催。ボランティアさんの「施設や一人暮らしの高齢者の話を聞いてあげるボランティアがおつたらいいなあ」との発言から計画しました。講習会で傾聴の技術を習得した方々でグループを結成、定期的に市内の高齢者や障がい者の施設や、高齢者世帯を訪問する傾聴活動や、総合福祉センターで「おしゃべりルーム」を開設し、来場者とお茶を飲みながらじっくり話を聴く活動を行っています。



地域福祉懇談会

住民の声に寄り添うことを第一に

社協の実践

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

地域を基盤としたつながりづくり

人口減少化社会の中、藍住町の人口は微増しており、核家族世帯や一人暮らし高齢者世帯数も増加傾向にあります。このような状況の下、藍住町社会福祉協議会では住民相互の連帯感を醸成するため、7地区の地区推進協議会を中心として、児童館との協働による夏祭りやふれあい会等の行事を実施しています。子どもやその保護者、高齢者など、参加対象者を限定せず、誰もが参加し交流できる機会を設け、住民が地域の取り組みに目を向け関心を持ってもらうよう開かれた住民参画の場づくりを進めています。

町内の一人暮らし高齢者を対象に年9回実施する「ふれあい会食会」では、参加者数は関係者を含めて毎回70名以上の方々が和気あいあいと食事をしています。普段は関わりが少ない地域の方も参加するので新しい友人もできます。参加の呼び掛けは、民生委員が社協と連携し、戸別訪問による安否確認、見守りを兼ねて実施。4つのボランティアグループが、2回交代で調理を担当しています。

大型商業施設ができて近隣の身近な商店が減少し、買い物弱者が増加する一方で、インターネットや流通の発達により人との関わりが希薄でも暮らしやすいようにになりましたが、孤立等の課題解決のため、地域を基盤としたつながりづくりを推進しています。



ふれあい会食会時のボランティアによる調理



地区協主催の運動会

「みんなですすめる地域の福祉」助成事業

「みんなですすめる地域の福祉」助成事業は、地域福祉の振興を図るため、平成26年度からの3ヶ年事業として、地域に根ざした福祉に関する取り組みや大規模災害等に備える事業に助成を行っています。事業の最終年度である平成28年度は、32団体に助成しました。その活動を一部ご紹介します。

特定非営利活動法人あわホームホスピス研究会

豊かに生きる講座 「暮らしのケアボランティアになろう」

誰かの手助けが必要な状態になったとき、住み慣れた地域で暮らし続けるため何が必要か、地域で暮らす当事者としての意識を高め、自ら互助の仕組みづくりに参画する大切さを実感し、学ぶことを目的に実施されました。



特定非営利活動法人徳島県レクリエーション協会

スポーツ・レクリエーション ボランティアスタッフ研修会

スポーツ・レクリエーション活動に取り組むボランティアを養成することにより、子どもの体力向上、高齢者の生きがいづくり、健康増進、地域コミュニティの構築を目指すことを目的とし、実施されました。



ボランティア「友の会」ひまわり

移動うたごえ広場

高齢者が一人で家に引きこもらないように元気でいきいきと参加し、笑顔になってもらうことを目的に、徳島市内で月2回、介護予防体操やカラオケを行う「うたごえ広場」を実施しています。本助成により課題であった参加者の交通の便を解決するため、県内各地で開催されました。



平成28年度「みんなですすめる地域の福祉」助成金交付決定一覧

NPO法人 Approach For Life Saver
NPO法人あわホームホスピス研究会
井川地区住民福祉協議会連合会
NPO法人うたごえコミュニティスポーツクラブ
えがお+for kids sports
NPO法人オーティの会
(社福) 勝浦町社会福祉協議会
紙芝居ボランティア「おしゃべりくまさん」
ガンフレンド
(社福) 北島町社会福祉協議会

劇団「千の舞い座」
子育てサロン「むぎばたけ」
サークル「フレンズ」
NPO法人スマイル
徳島県脊柱靭帯骨化症友の会
NPO法人徳島県ボランティア協議会
NPO法人徳島県レクリエーション協会
NPO法人徳島すみれ会
とくしま難病支援ネットワーク
徳島県筆記通訳者協会

NPO法人徳島防災ネットワーク
NPO法人徳島ライフサポート協会
ナルク徳島「阿波すだち」
日本ALS協会徳島支部
NPO法人ふれあいの福祉の会山びこへるぶ
ボランティア「友の会」ひまわり
NPO法人みなと小松島スポーツクラブ
南サロン『のぞみ』
(社福) 牟岐町社会福祉協議会
(社福) 吉野川市社会福祉協議会
NPO法人吉野川に生きる会
「レクイエム」平和を詠む会